

最先端のプロダクトライフサイクルマネジメント(PLM) —家電、自動車メーカーの事例に学ぶ—

開催期日:平成 15 年 11 月 18 日(火)

主催:(社)精密工学会

企画:事業部会企画第 1 グループ

協賛:大田区産業振興協会/品川区産業振興課/SME東京支部/機械技術協会/機械振興協会/軽金属学会/計測自動制御学会/自動車技術会/情報処理学会/電気通信協会/電子情報通信学会/東京都金属プレス工業会/日本金型工業会/日本機械学会/日本工学会/日本工作機械工業会/日本自動車工業会/日本設計工学会/日本塑性加工学会/日本ダイカスト協会/日本鑄造工学会/日本溶接協会/発明協会東京支部

近年のグローバル展開やIT(情報技術)化の進展,さらには製造業の中国へのシフトなどによって,日本の製造業は極めて苦しい立場にあります.そのため日本の製造業は,今後ますます,より付加価値の高い製造業への転換を迫られることとなります.それは,ものづくりのシステム自体の抜本的な見直しが必要になってきているということと考えられます.本講習では,今後ものづくりのCAD/CAE/CAM/CATをデジタルエンジニアリングで効率よく一気通貫で行えると期待されるPLM(Product Life-cycle Management)の活用状況を,家電,自動車,ベンダ,ソフト支援メーカーなどからの先端的視点で紹介して頂きます.それぞれのメーカーの具体的な活用手法や事例が解説されますので,是非ともご参集下さいますようお願いいたします.

日 時:平成15年11月18日(火) 9時50分~17時15分

会 場:中央大学理工学部後楽園キャンパス 新3号館 10階 31008 大会議室

(〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27)

*後楽園駅(営団地下鉄丸の内線,南北線)下車徒歩約5分 *春日駅(都営地下鉄大江戸線,三田線)下車徒歩約7分

*水道橋駅(JR 総武線)下車徒歩約10分

☆ 会場 URL: http://www.tamacc.chuo-u.ac.jp/chuo-u/access/access_korakuen.html

司 会:武藤 一夫(職業能力開発総合大学校),香川 敏之(デジタルプロセス株式会社)

次 第(予定)

時間	題目	内容	講師
9:50~10:00	挨拶		
10:00~11:00	マーケティングとのコラボレーションによる製品開発	消費者ニーズが不透明で売れる旬の時期が短くなっている時代には,より競争力のある売れる商品を開発する重要性が増々高まっています.そのために,PLMの果たす役割は何かについて,マーケティングとデザイン・設計との連携の観点から課題とソリューションをご提案します。	(株)エクサ PLMソリューション部 遠藤 明彦
11:00~12:00	ソリューションプロバイダーから見たPLMの構築	近年,PLMが脚光を浴びる中,PLMを検討する上で,様々な着眼点から,企業にとっての最適な仕組みの構築を検討する必要があります. PLMを単独の仕組みとして捉えるのではなく,大きな枠組みとして捉え,成功するための構築方法とは,なにがなかにかに迫る。	クオリカ(株) インダストリアル・ビジネス 事業部 ソリューション営業部 柿 良幸
12:00~13:00	昼食		
13:00~14:00	ホンダにおけるPLM活用状況	4輪開発における,CAD図面データとデジタルモックアップデータの管理手法,流通手法,活用法について. また,今後の3D化の展開について。	(株)本田技術研究所 栃木研究所 CIS2ブロック 田中 秀幸
14:00~15:00	自工会のPDM/STEPに関する取り組み	自動車メーカー/サプライヤ各社におけるPDMシステムの実務適用の進展と共に,各社とのコラボレーションにおいてCADデータのみならず,アセンブリ情報や変更管理等PDMの共有が重要になってきた.日米欧豪の自工会では,このようなPDM情報の共有に関し,STEP/AP214を活用したGlobal-Solutionを共同で策定中であり,その内容及び今後の展開について紹介する。	富士重工業(株) ITシステム部 (自工会 PDM/STEP 分科会 副分科会長) 荒牧 英明
15:00~15:15	休憩		
15:15~16:15	東芝のPC開発におけるPLM活用状況	Time to Market No. 1を目指し,CAD/CAM/CAE/CAT/PDMを駆使したPC開発のプロセス改革(e-Engineering活動)のご紹介。	(株)東芝デジタル メディアネットワーク社 青梅デジタルメディア工場 工場長附 金子 泰郎
16:15~17:15	サプライヤの視点での3D-CAD活用のポイント	・顧客への納品のためだけの3Dモデリングからの脱却 ・3Dデータを成長させ,デジタルモックアップから構造解析,生産シミュレーション,CAMへの拡大	デジタルプロセス(株) デジタルコンテンツサービス 部 部長 加藤 廣

定 員:60名(先着順で定員になり次第締切ります)

参 加 費:会員(賛助会員および協賛団体会員を含む)20,000円, 非会員 30,000円【会員・非会員ともテキスト代込み】

学生会員 無料(ただしテキストご入用の場合は, 4,000円をご負担ください),

学生非会員 6,000円(テキスト代込み) *参加費・テキスト代とも消費税を含みます。

資 料:資料のみ, または聴講者で2冊以上ご希望の場合, 1冊 4,000円

申込締切:平成15年11月11日(火)

申込方法:申込書に必要事項をご記入の上, 郵送またはFAXにて受け付けます。

申込先:(社)精密工学会

(〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-5-9, 九段誠和ビル 2F, 電話 03-5226-5191, Fax 03-5226-5192)
(学会ホームページ <http://www.jspe.or.jp> からも申込出来ます。)